

令和2年度 第1回京都市保健所運営協議会

書面開催結果（主な意見等）

【議題1】令和2年度京都市保健所運営方針（案）について

- 災害時医療救護体制の構築について、あらかじめ医療関係団体と連携した訓練を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、クラスター発生防止策を加味した訓練の実施を検討していただきたい。

【議題2】熱中症対策について

- 高温多湿である京都の環境下では、新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用は負担が多く、特に高齢者や子ども等は自覚がないまま熱中症を発症するリスクが高いため、例年以上にこまめな水分補給を行うとともに、他者と密でない場面では積極的にマスクを外すことが必要である。
- 外気温がピークに達するなど、熱中症リスクが高まる状況に至った際には、音声等で注意喚起を行うなどの仕組みを作る。
- 熱中症予防の啓発チラシの全戸配布や、自治会等を通じた回覧を実施する。

【オンライン会議の実施について】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンライン会議の活用が重要である一方で、参加者が実際に集まり顔を合わせながらの議論が必要となる場合もあり、また、オンライン会議における参加者側の通信環境も軽視できないことから、一律に全てをオンライン会議とする必要はない。
- オンライン会議を行う際に、参加者の発言・意思表示方法や賛否の取り方など、運用面でのルールも検討が必要。

【その他】

- 以前発生した医療機関医師の新型コロナウイルス感染症感染事例について、個人情報等の関係から、京都市保健所から地区医師会や近隣医療介護施設への情報提供がなされなかったが、公衆衛生や感染拡大防止等の観点から、今後は何かしらの情報は発信するべきであり、これについて京都市の考えを伺いたい。